



D o s h i s h a T o k y o E n s a m b l e

同志社東京アンサンブル 第17回 定期演奏会



指揮
河上 隆介



ヴァイオリン独奏
大西 梓

Program

ベートーヴェン
歌劇「フィデリオ」序曲 ホ長調 Op.72c

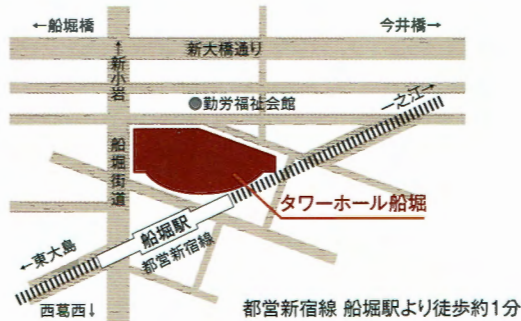
メンデルスゾーン
ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 Op.64

ベートーヴェン
交響曲第6番 へ長調 Op.68「田園」

2017 **9/17** (日) 開場 12:45
開演 13:30
タワーホール船堀
大ホール 当日券 500円

同志社校友会会員で入場券をお持ちでない方は
当日会場の特設受付にて無料入場券をお渡しいたします。

※未就学児のご入場はご遠慮ください。



同志社東京アンサンブル

1999年に同志社交響楽団(京都)の関東在住OB/OGにより結成されたオーケストラです。現在の団員数は約30名で、20代前半から70代まで三世代にわたる幅広い年齢層のメンバーが世代を越えて音楽を楽しんでいます。当団では、随時、メンバーを募集しております。詳細は楽団Webページをご覧ください。
http://www.geocities.jp/doshisha_tokyo_ensemble/

河上 隆介 Ryusuke Kawakami (指揮)

東京に生まれる。成城大学法学部を卒業後、サラリーマンを経て、東京音楽大学音楽学部音楽学科作曲指揮専攻(指揮)を卒業。これまでに指揮を小林研一郎、広上淳一、汐澤安彦、三河正典、時任康文、チェロを三森未来子、八十嶋龍三、大森充、ピアノを地脇信行、山城浩一、音楽理論を久田典子の各氏に師事。また、在学中モーシェ・アツモン、尾高忠明両氏の公開レッスンを受講。2013年8月と9月には、仙台フィルハーモニー管弦楽団特別演奏会「マイタウンコンサート」を指揮、この演奏会がプロフェッショナル・オーケストラとの初共演となった。2013年3月及び2014年3月に行われた「第29回・第30回トヨタ青少年オーケストラキャンプ」では、広上淳一氏のアシスタントを務めた。2014年5月には、サンアゼリアフィルハーモニー「和光市音楽鑑賞会」を指揮。同オーケストラのアウトリーチ活動にも関わっている。現在、Seven★Star Orchestra、オーケストラパレゾン、福島県立医科大学管弦楽団、早稲田大学弦楽合奏団ソリスト、学習院ジュニア・オーケストラほか、各地のアマチュア・オーケストラの指揮と指導に情熱を注いでいる。サンアゼリアフィルハーモニー・アシスタントコンダクター、東京音楽大学・指揮科研究員。同志社東京アンサンブルとは昨年の第16回定期演奏会に引き続き今回が二度目の共演となる。

大西 梓 Azusa Onishi (ヴァイオリン)

神奈川県出身。2008年、桐朋学園大学音楽学部卒業後、イタリアに渡り、2011年、ベルギーのF.モラルック音楽院を最優秀および称賞を受けて卒業。2014年、ローマのサンタ・チェチーリア国立アカデミーのヴァイオリンコースを首席卒業。2007年、第17回日本クラシック音楽コンクール、弦楽器部門大学の部第2位(第1位なし)。2010年、リヴィエラ・エトワール・コンクール(イタリア)第1位。2010年に結成したピアノトリオ「Trio Les Amis」で、2012年、バドヴァ国際音楽コンクールの室内楽部門で第1位。2013年、プレミオ・グイード・パビーニ国際室内楽コンクール第2位。これまでに、ヴァイオリンを名倉淑子、影山優子、P・フランチェスカーニ、S・チャケリアン、M・フィオリニの各氏に師事、室内楽を藤原浜雄、北本秀樹、F・ペピチェリ、トリオ・ディ・バルマの各氏に師事。現在、オーケストラ・ダ・カメラ・ディ・ベルギー(旧・ソリスト・ディ・ベルギー)および、弦楽合奏団「ソリスト・アクイラーニ」のメンバーとして活動するほか、イタリア各地および周辺のヨーロッパ各国で主に室内楽を中心とする演奏活動を行う。